

現実がどう人間を進化の道に沿って突き動かすのかについて、上層世界(霊的な世界)を定義する特質と、物質的な世界を定義する特質について、人間の認知する方法の何が霊的な世界を見えなくさせ、それをより大きな現実に行っているのかについて、欲望の進行を見てきました。

肉体的な欲望には4つのカテゴリーがあり、**創造の思考の目的とは、被造物を創造し、無制限の喜びに至らせると言うこと**から、クリエイターは喜びを使って、被造物を進化させるのです。

よって、創造の思考から始まった進化は、**欠乏感と満足感**で全てが表現されるのです。欲望は性交、住むところ、家族といった動物的で単純なものから発達し始めます。そしてそれが満たされると、欲望はもっと大きくなり、富への欲望に移ります。富は動物的欲望を集めたものです。しかし、それも**空虚**に感じます。理由は、人間が常に何かに突き動かされていて、それを美味しさのようなものとして感じ、それを得ようとして近づくのですが、取得すると、その味がなくなってしまうのです。私達を突き動かすものは**発達の力**です。次に、欲望は**富から名声・権力**に移ります。それをいったん満たすと**虚無**を感じ、次は**知識欲**に移ります。いったん知識も虚無だと分かると、この世のもので自分を満足させるものが無いと感じ、訳が分からなくなります。そして、丁度その時点から全く新しい発達段階に到達出来るようになるのです。

『苦難の道とトーラーと戒律の道』

その特別な欲望が**授与する意思**と言う特質から構成されるスピリチュアリティから心に入ってくると、人間の心の全てが変わります。

人間の心(“心”と言う言葉をカバラで使うとき、それは人の持つ全欲望の合計を表わします)、この心はまだ物質界に在る欲望で満たされています。まだ、カテゴリー1、2、3、4の部類です。**この欲望はスピリチュアリティに到達したいと言う欲望**です。それは、“**イスラエル**”と呼ばれます。**ヤシャー**は“**直進**”、**エル**は“**神**”を意味するヘブライ語がその語源です。**神と直接的に繋がりたいと言う欲望**。これらの肉体的欲望は、世界の“**国家**”(ネーション)と呼びます。言い換えると、**物質的な世界の欲望**です。発達の力・欲望は私達に物質界の上にあるものを実際に感じたいと思わせるようにまでなりましたが、それは**無意識なこと**でした。しかし、**ここから先は意識的に起きなくてはなりません**。なぜなら、この心の点はスピリチュアリティの遺伝子、魂の胚のようなものであるからです。そして、魂とは欲望のようなもので、心はこの欲望で満たされなくてはならないのです。それは、これらの肉体的欲望にかかわらず、全部を満たさなくてはなりません。言い換えると、**私達の持つ全ての欲望が、変化または正されなければならないと言うことです。そして、これらの欲望を正すことにより、神と直接的に一体化したいと言う欲望が満たされるのです。**

何故でしょうか？

私達の最初の状態、魂の根源では“**クリエイターと被造物**”として、ひとつに繋がっていました。実は、被造物で存在するものはこれだけです。クリエイターと被造物だけです。ここで私達は、1つに結合した被造物として、クリエイターと一体化されていました。しかし、創造の思考とは、被造物を創造しそれを喜びで満たすと言うことなので、これは単にスタート地点、体系(システム)の始まりにしかすぎません。そしてこの被造物の特質、受取る意思が意図的に膨らみはじめ、この特質—自己だけの為に受取るという欲望—の膨張の結果として、**クリエイターの特質(授与)**と、**被造物の特質(受取)**の間に差異が生じ、その差異は拡大しました。利己的な意図が膨張するにつれて、1つに統合された最初の被造物、“**アダム・ハリション**”(最初の間人と言う意味)と呼ばれる魂の集合体が、世界の体系を、中の**125段階**を下降しエゴイズムを膨張させ、魂が肉体を持ったように見える**分断された状態**にまで至りました。つまり、**魂の集合体が粉々になり、60万の断片にまで分離したのです**。その各部には、原型の一部があり、それらは欲望でできています。そして、これはまだ過程の中間地点なので、私達はこの壊れてバラバラになった集合魂の状態の中、お互いからの孤立、疎外、敵対心を感じます。それは**互いを利用しようとする欲望**です。そして、物質界での過程は、中間地点などで**いずれこの欲望は是正されるのです**。それは、いつか世界の体系のなかを上昇し、**クリエイターと結合した状態に戻ります**。しかし、全体が一度に戻る訳にはいかず、故意に60万個の部分にまで分断されたのです。そして、この各部の中も同じように**613個の欲望に分断**されました。つまり、**アダムハリションの中の個々の欲望は613個の欲望で構成されていて、是正することができるのです**。それが小さく分けられたからです。例えば、大きな財宝をコインを一枚ずつ人に渡して分けるような事です。この授与の特質は戻されることが分かっていたからです。この心の点は、この点をその起源に戻すと信用されていて、再び財宝は一つに集められて戻されます。